

校訓	自分を育て 自分を生かし 社会を明るく	令和5年度学校だより 「天の子」 第18号	発行日	令和6年3月11日
教育目標	夢と誇りのある生徒の育成 ～自ら学び、考え、行動する力と、豊かな心を育む～		発行者	伊丹市立天王寺川中学校 校長 前田 徳三

【卒業式】

3月は「旅立ちの季節」です。学校生活における様々な場面で3年生の先輩たちにお世話になったことと思います。3年生は、3月8日に立派に本校を卒業し、新たな道に進んでいきました。私の式辞の一部を紹介します。



< 式 辞 >

柔らかな日差し、温かく吹く風、中庭で綺麗に咲き誇る河津桜に春の訪れを（中略）
皆さんの中学校生活は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に翻弄され、将来の歴史の教科書にも、世界史の転換点として記されるであろう3年間でした。しかし、ご家族や地域の方々に支えられ、教職員に見守られ、可能な限りの授業、行事、部活動などを行ってきました。この様々な経験を通して、皆さんは、素直で心温かく大きく、逞しく、成長しました。また、多くの感動とともに素晴らしい思い出を残すことができたことと思います。（中略）

さて、私から、皆さんに最後の話をします。カリフォルニア大学の調査結果によると、皆さんの平均寿命は107歳で、確実に22世紀まで生きてると推測されています。そこで、仮に百歳まで生きたとして、これを24時間、1日で表します。0時に生を受けたとしたら、お昼の12時は何歳になりますか。そうです。半分の50歳です。では、朝6時なら何歳になりますか。そうです。25歳です。では、皆さんの15歳は何時になるでしょうか。実は、午前3時36分であり、まだまだ夜明け前です。人生は始まったばかりなのです。

10年後の25歳では、皆さんはどのような大人になっていると思いますか。また、どのような大人になりたいですか、どのような仕事に就いてどのようなことをしてみたいですか。想像をすれば、今の自分を客観的に見ることができます。未来の自分自身をつくるためには、これからの成長のなかで、しっかり勉強をしたり、興味のあること、好きなことに熱中して自分の中に取り込んだりすることが大切です。何かに打ち込むことで、興味のあることや、好きなことがだんだん光ってきます。また、多くの本も読んでください。本から、多くの先人の考えや生き方、教訓を取り入れてください。1日1日が、皆さんが幸せになるための未来を創り上げていきます。

ワールド・ベースボール・クラシックで日本を世界一に導き、国民的スターである大谷翔平選手の二刀流を見出し、育てた栗山英樹監督は、選手の育成について次のように話されました。「いくらこちらが努力しても選手が変わるのは、自力でスイッチを入れたときであり、自分で何かを学んでつかみ取ろうとすることが、技術や能力よ

りも大事なことです。ただ、自力でスイッチを入れられる環境を整えることも大切です」と述べられました。環境とは、自分がチャレンジできる、チャレンジし続ける環境であり、成長できる環境です。ともに成長できる仲間を見つけることなども重要な環境です。（中略）

今後、新たな感染症や地震、台風などの自然災害などの大きな被害や苦難に遭遇するかもしれません。また、現在は、先行き不透明で予測困難な時代であり、人生100年時代が到来しています。このような時代を生き抜くためには、今後も多くのことに果敢にチャレンジし、常に学び続け、成長し続けることを忘れず、人間的にさらに大きく、逞しくなってください。人は、学ぶことを通して成長することができ、活動することやチャレンジすることを通して、これまで知らなかった異なる世界を見ることが出来ます。そして、人は、重要な岐路に立ったとき、信頼し尊敬できる師匠や先生なり、心を許し合った親友がいる人といない人、あるいは、つくる努力をする人、しない人とは、人生に大きな差が出てきます。（中略）

本校の学校教育目標は、『夢と誇りのある生徒の育成』です。どんなときも情熱や希望をもって自分の夢に向かってください。夢は、自分の能力と意欲、やる気を引き出し、様々な困難や苦難を乗り越える原動力となります。夢や希望は、他人から与えられるものではなく、自分がつくるものです。自力でスイッチを入れる環境を作り出してください。人生が夢を作るものではありません。夢が人生をつくるのです。

これからも夢と誇りを持ち、本校で培ったものを礎にして、自信をもって自分の道を歩んでください。皆さんの前途に幸多からんことを心からお祈りいたします。

最後に、本日、皆さんにお渡しした卒業証書には、一人ひとり違う箇所が3ヶ所あります。何だと思いませんか。それは証書番号、名前、生年月日です。皆さんは今日、義務教育を終え、体育館いっぱい貼ってある銅板の中に名前が刻まれます。証書番号は、伝統のある天王寺川中学校の卒業生の一員になった証の番号です。名前は、親から最初にいただいた大切な、大切な贈り物です。そして、皆さんが生を受けた日、生年月日を記載しています。これまで、熱を出したり、怪我をしたりした日があったでしょう。しかし、ご家族は夜中であろうと疲れていたとしても、皆さんの看病をされたと思います。また、いろいろなことで悩んだり、落ち込んだり、苦しんで泣いた日もあったでしょう。そんな時は、ともに心の奥で泣いてくれ、嬉しいときはともに喜んでくれたことでしょう。今日は、これまで支えてくれたご家族に対して感謝する日です。照れくさいかもしれませんが、これまで世話になったご家族の皆さんに感謝し、声に出して「ありがとう」と言葉で表して伝えてもらいたいと思います。そして、いつまでも『感謝の心』を忘れないでください。（中略）天王寺川中学校、ここが皆さんの心のふるさとです。



天王寺川中学校の取組や子どもたちの様子をホームページに載せています。是非、ご覧ください。

https://www.itami.ed.jp/school/Jrhigh/jr_tenn/index.html

※右のQRコードをお読みいただき、天王寺川中学校のホームページをご覧ください。

